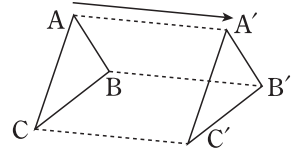


移動, 平行移動

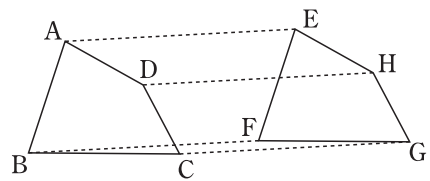
- ▶ 図形の形と大きさを変えないで、位置だけを変えることを移動という。移動によってぴったり重なる図形を合同であるといい、重なる点を対応する点という。
- ▶ 図形を一定の方向に、一定の長さだけ動かす移動を平行移動という。
- ▶ 平行移動では、① 対応する点を結ぶ線分は、平行で、長さが等しい。
② 対応する辺は平行である。



例題 1

右の図で、四角形 EFGH は四角形 ABCD を平行移動したものである。次の問いに答えなさい。

- (1) 線分 AE と長さの等しい線分をすべて答えなさい。
- (2) $\angle ABC$ と等しい角を答えなさい。
- (3) 辺 AB と辺 EF の関係を答えなさい。



解き方

(1) 平行移動では、対応する点を結ぶ線分は平行で長さが等しく、AE は対応する点を結ぶ線分である。

答 線分 BF, CG, DH

(2) $\angle ABC$ に対応する角を答える。

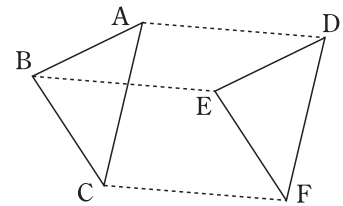
答 $\angle EFG$

(3) 平行移動では、対応する辺は平行で長さが等しい。

答 $AB \parallel EF, AB = EF$

問題 1 右の図で、 $\triangle DEF$ は $\triangle ABC$ を平行移動したものである。次の問いに答えなさい。

- (1) 辺 BC に対応する辺を答えなさい。
- (2) 線分 AD と平行な線分をすべて答えなさい。

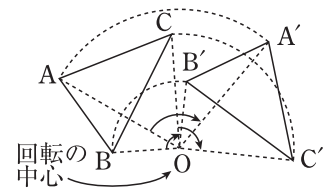


回転移動

▶ 図形を、1つの点 O を中心として、一定の角度だけ回転させる移動を回転移動という。このとき、点 O を回転の中心という。

注 180° の回転移動を点対称移動という。

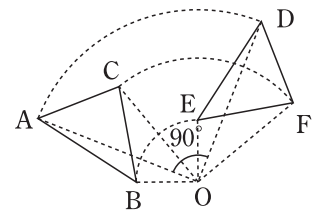
▶ 回転移動では、対応する 2 点は回転の中心からの距離が等しい。また、対応する 2 点と回転の中心とを結んでできる角はどれも等しい。



例題 2

右の図で、 $\triangle DEF$ は $\triangle ABC$ を点 O を回転の中心として回転移動したものである。 $\angle AOD = 90^\circ$ のとき、次の問いに答えなさい。

- (1) AO と等しい長さの線分を答えなさい。
- (2) $\angle BOE, \angle COF$ の大きさを求めなさい。



解き方

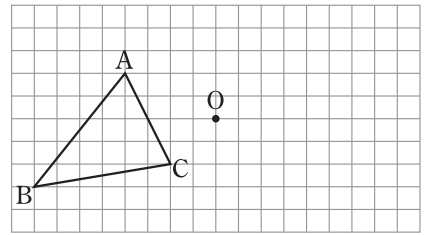
(1) 回転移動では、対応する 2 点は回転の中心からの距離が等しい。点 A と D が対応する点だから、 $AO = DO$ である。

(2) 対応する 2 点と回転の中心とを結んでできる角は $\angle AOD, \angle BOE, \angle COF$ で、回転移動ではこれらがすべて等しいから、 $\angle BOE = \angle COF = \angle AOD = 90^\circ$

答 (1) 線分 DO (2) $\angle BOE = 90^\circ, \angle COF = 90^\circ$

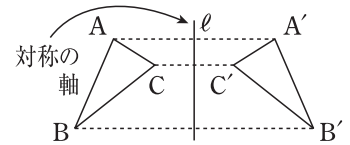
問題 2 右の図について、次の問いに答えなさい。

- (1) $\triangle ABC$ を、点 O を回転の中心として 180° 回転移動(点対称移動)した図をかきなさい。
- (2) (1)の図で、点 A に対応する点を D とするとき、点 O は線分 AD の何になるか答えなさい。



対称移動

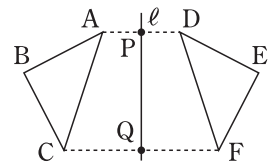
- ▶ 図形を、ある直線を折り目として折り返すような移動を対称移動といい、折り目とした直線を対称の軸という。
- ▶ 対称の軸は、対応する点を結ぶ線分の垂直二等分線である。



例題 3

右の図で、 $\triangle DEF$ は $\triangle ABC$ を直線 l を対称の軸として対称移動したものである。 l と AD , CF との交点を P , Q とするとき、次の問いに答えなさい。

- (1) $\angle APQ$ の大きさを求めなさい。
- (2) AP と等しい長さの線分を答えなさい。



解き方

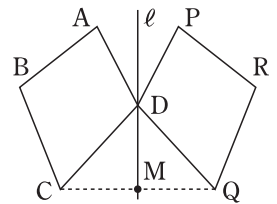
対称の軸は対応する2点を結ぶ線分の垂直二等分線であることに注目する。

- (1) l と AD は垂直になるから、 $\angle APQ = 90^\circ$
- (2) l は AD を2等分するから、 P は AD の中点である。

答 90°
答 DP

問題 3 右の図で、四角形 $PRQD$ は四角形 $ABCD$ を D を通る直線 l を対称の軸として対称移動したものである。 l と CQ の交点を M とするとき、 にあてはまるものを答えなさい。

- (1) 辺 AB に対応するのは辺 である。
- (2) l BR □(3) CM QM □(4) $\angle CDM = \angle$



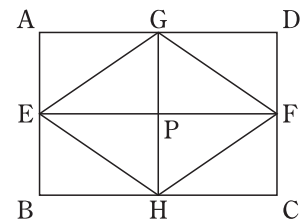
移動の組み合わせ

▶ 平行移動, 回転移動, 対称移動の3つを組み合わせると、図形はどのような位置にでも移動できる。

例題 4

右の図のように、8つの合同な直角三角形をすき間なく並べて長方形をつくるとき、次の問いに答えなさい。

- (1) $\triangle AEG$ を直線 EF を対称の軸として対称移動し、さらに直線 GH を対称の軸として対称移動したときに重なる図形を答えなさい。
- (2) $\triangle AEG$ を $\triangle PHF$ に移動してから $\triangle PGE$ に移動した。この移動はどのような移動を組み合わせているか答えなさい。



解き方

(1) $\triangle AEG$ を直線 EF を対称の軸として対称移動すると $\triangle BEH$ に移り、 $\triangle BEH$ を直線 GH を対称の軸として対称移動すると $\triangle CFH$ に移る。

答 $\triangle CFH$

(2) $\triangle AEG$ を線分 GF の向きに GF の長さだけ平行移動すると $\triangle PHF$ に移り、 $\triangle PHF$ を点 P を回転の中心として 180° 回転移動すると $\triangle PGE$ に移る。

答 平行移動と回転移動

問題 4 例題 4 において、 $\triangle AEG$ を $\triangle PHE$ に移動するとき、平行移動, 回転移動, 対称移動のうち必ず 使わなければならない移動はどれか答えなさい。